

ニュースレター News Letter

No.
5

<http://www.kochi-u.ac.jp/imt>

2012.10

Promotion Program for Young Scientists and COE for Innovation of Marine Science and Technology



INDEX

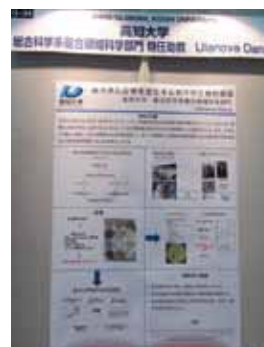
- | | |
|---|---|
| 1 | BIO tech 2012 参加 |
| 1 | The 9th APMBBC 開催 |
| 2 | 「グリーンサイエンス人材育成コース」特別講義 I |
| 2 | 「マリンバイオテクノロジー」集中講義 |
| 3 | 国際学会等派遣報告(寺本特任講師) |
| 3 | 国際学会等派遣報告(椿特任助教) |
| 4 | 日本生態学会宮地賞 受賞(三浦特任助教) |
| 4 | アウトリーチ活動報告「第11回THE ONE-DAY SEMINAR 2012」(Ulanova特任助教) |
| 5 | i-Campus Meeting 開催 |
| 5 | TT教員に対するFD開催(安全衛生研修会) |
| 5 | TT教員に対するFD開催(科研費説明会) |

「BIO tech 2012 第11回 国際バイオテクノロジー展/技術会議」出展

平成24年4月25日(水)～4月27日(金)に東京ビッグサイトで開催されたBIO tech 2012 第11回 国際バイオテクノロジー展/技術会議にて、本事業のテニユア・トラック教員のUlanova Dana 特任助教と片岡 正典特任講師が研究成果の発表とポスター展示を行いました。

世界中のライフサイエンス研究機器メーカーやベンチャー企業、研究機関など650社が先端バイオ技術を出展するこのイベントでは、製品・技術の導入を目的に来場する28,000名の専門家と出展社の間で活発な交流が行われます。

全300講演のシンポジウム・フォーラムも開催されるバイオテクノロジーに関するアジア最大のバイオ展・国際会議です。



展示パネル (Ulanova Dana 特任助教)

研究成果口頭発表

■ Ulanova Dana 特任助教

(日時:4月27日(金) 12:10～12:40)

「新天然化合物を産生する海洋微生物の探索」

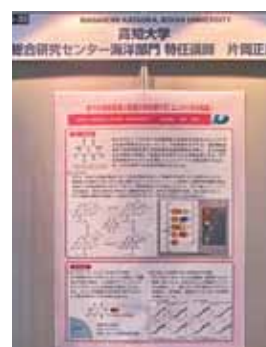
■ 片岡 正典 特任講師

(日時:4月27日(金) 14:50～15:20)

「すべての核酸塩基と塩基対を形成する人工塩基PPT」



口頭発表会場の様子



展示パネル (片岡 正典 特任講師)

「The 9th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference」開催

平成24年7月13日(金)～16日(月)に、高知県の高知市文化プラザかるぼーとで、第9回APMBC (Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference) が開催されました。

「Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference」とは、バイオテクノロジーを基盤とした海洋の学術的な理解およびその利用に寄与することを目的としてアジア太平洋地域の海洋生命工学研究者が参加する歴史ある国際学会です。

この国際学会において、本事業が2日目のスペシャルセッションを担当し、テニユア・トラック教員の小野寺 健一特任助教とUlanova Dana 特任助教が発表者として講演を行いました。また、3日目のセッション「Marine Microbiology 2」に寺本 真紀特任講師がセッションチェアマンとして参加し、研究成果を発表しました。さらに企業展示ブースにおいてはIMT事業とテニユア・トラック教員を紹介するポスターを展示し、来場者へのPRを行いました。

■ 小野寺 健一 特任助教 (左)

(日時:7月14日(土) 14:20～14:40)

「共生海洋渦鞭毛藻類の生物活性代謝産物探索」

■ Ulanova Dana 特任助教 (中)

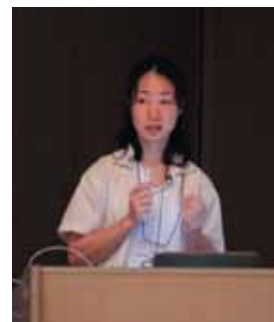
(日時:7月14日(土) 16:20～16:40)

「海洋微細藻類におけるポリケチド生合成遺伝子の探索」

■ 寺本 真紀 特任講師 (右)

(日時:7月15日(日) 10:40～11:00)

「マラッカ海峡に存在する細菌群の解析」



「グリーンサイエンス人材育成コース」の特別講義 I

平成24年6月13日(水)、6月20日(水)、7月11日(水)の日程で、テニユア・トラック教員によるグリーンサイエンス人材育成コースの特別講義が行われました。「グリーンサイエンス人材育成コース」は化学の基礎知識をバックグラウンドとして、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、境界領域・関連領域への展開力を持ち、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指しています。今回の講義は1年生を対象としており、テニユア・トラック教員は研究・開発の重要性と魅力を学生たちに理解してもらうために自身の研究内容、研究の重要性、研究の楽しさについて講義を行いました。



三浦 収特任助教



Ulanova Dana特任助教



片岡 正典特任講師



椿 俊太郎特任助教



寺本 真紀特任講師



小野寺 健一特任助教

「マリンバイオテクノロジー」集中講義

平成24年9月10日(月)、9月11日(火)、9月12日(水)の日程で、テニユア・トラック教員によるマリンバイオテクノロジー集中講義が行われました。農学専攻修士課程の学生を対象としたこの集中講義で、テニユア・トラック教員は自身の研究内容の関連領域を中心に、マリンバイオテクノロジーに関する基礎知識の習得、世界における研究動向、将来展望などについて講義を行いました。



三浦 収特任助教



寺本 真紀特任講師



小野寺 健一特任助教



Ulanova Dana特任助教



片岡 正典特任講師



椿 俊太郎特任助教

国際学会等派遣報告

(寺本 真紀 特任講師)

2012年6月23日(土)～28日(木)の日程で、イタリアで開催されたGordon Research Seminar & Conference on Marine Microbesに参加しました。Gordon Conferenceは会議で得られる情報を公開してはいけないため詳細に内容を報告する事は出来ませんが、海洋微生物について生態学・Omics(Proteomics, Genomicsなど)による解析・共生・生物工学的に応用する話など31演題を聴講しました。細菌だけではなく微細藻類の話も多くありました。ポスターは約100あり生態学の内容が多く、中でも特に海洋調査の内容が多くありました。世界的な研究動向を掴む良い経験になりました。今後の研究に生かしたいと思います。



ピサの斜塔にて
(学会会場の近くの町)



学会の行われたホテル

国際学会等派遣報告

(椿 俊太郎 特任助教)

2012年7月23日(月)～27日(金)の日程で米国Long Beachにて開催された2nd Global Congress on Microwave Energy Applicationに参加し、口頭発表を行いました。本国際会議は日本電磁波エネルギー応用学会(JEMEA)や、International Microwave Power Institute(IMPI、米国)、Microwave Working Group(米国)、Association for Microwave Power in Europe for Research and Education(AMPERE、欧州)が4年に一度、合同で開催する会議です。私は「Microwave Effects on Hydrothermal Hydrolysis of Starch: A Comparison with Induction Heating」と題して、マイクロ波照射を用いてバイオマス中の糖質資源を有効利用する技術について、高知大学複合領域科学部門の先生方との共同研究の成果を発表しました。マイクロ波を利用したグリーケミストリーに関連する研究者らと多くの議論を交わすことができ、充実した会議となりました。米国ではマイクロ波を用いた省エネルギー工業プロセスが注目を集め、米国エネルギー省の特別セッションが開かれるなど、今後ますますマイクロ波を用いた技術の重要性が高まると感じられました。今回得られた経験を糧に、研究の次なるステージへと邁進していきたいと思っております。



ロングビーチの街並み



発表の様子

日本生態学会宮地賞を授与されました

三浦 収特任助教がこれまで行ってきた研究が生態学の発展に大きく貢献したことを認められ、日本生態学会宮地賞を授与されました。

日本生態学会宮地賞は、生態学の顕著な研究業績を公刊し、今後の一層の発展が期待される若手会員に授与されるものです。



(以下、日本生態学会ウェブサイトより転載)

日本生態学会宮地賞 選考経緯および選考理由

三浦収氏は、巻貝とその寄生者である吸虫を研究対象とし、生物間相互作用、侵入動態・共種分化など幅広い研究に取り組んできた。(中略)さらにパナマ地峡に分布する巻貝20種の系統関係を明らかにし、パナマ地峡の形成の影響が巻貝の空間利用の様式によって異なる可能性を示した。以上の研究成果は、Proceedings of the Royal Society B, PNAS, Molecular Phylogenetics and Evolution, Ecological Research など10本のインパクトファクターの高い国際生物学雑誌に掲載され、その被引用回数は105を数える。三浦氏が現在取り組んでいるパナマの巻貝と寄生虫の共種分化研究は今後の研究の発展が期待されるものだが、一方でこれまで農獣医学的観点から主に研究されてきた寄生虫に関して、生態学的なアプローチで研究を進める数少ない日本人研究者でもある。(中略)今後も、寄生虫と巻貝に関する研究で重要な研究成果を次々とあげていくことが期待される。(以下略)

アウトリーチ活動報告「第11回 THE ONE-DAY SEMINAR 2012」

2012年6月23日(土)に高知県の土佐塾高等学校で行われた「第11回 THE ONE-DAY SEMINAR 2012」にUlanova Dana特任助教が招待され講義を行いました。このセミナーは全国各地の大学から15名の講師が招かれ、土佐塾高等学校の生徒と保護者、教職員を対象に毎年開催されています。Ulanova特任助教は「微生物入門—自然界と人間生活での微生物の役割」と題して講義を行い、60人以上の生徒や保護者の方々が聴講されました。講義は通訳を介しながらも全て英語で行われました。高校生達は講義内容を理解している様子で、興味深くメモを取ったり熱心に質問をしたりしていました。今回、このセミナーを通して新たな分野に触れたことが、今後の彼らの人生に少しでも役に立てばと思います。

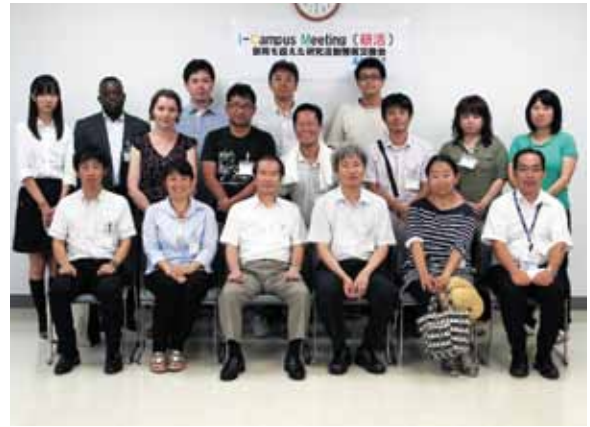


「i-Campus Meeting」が開催されました

平成24年8月10日(金)に、朝倉キャンパスにてi-Campus Meetingが開催されました。

i-Campus Meetingとは、高知大学の大学院生を含む研究者に部局を超えた横のつながりを持っていただきたいと考えられた企画であり、まずは、高知大学の研究者仲間としてお互いを知ることからはじめ、その先に人脈作りや共同研究に繋がることを期待して実施するものです。

当日は本学の脇口学長の参加も得て、大変楽しい会となりました。本事業からは、小野寺 健一特任助教とUlanova Dana特任助教、片岡 正典特任講師が参加し、IMT事業の説明や自身の研究内容の紹介を行い、本学内の異なる分野の研究者との交流を深めました。



テニユア・トラック教員に対するFDを開催しました

平成24年5月21日(月)に岡豊キャンパスと物部キャンパスで、5月23日(水)に朝倉キャンパスで、安全衛生研修会が実施されました。この研修会は実験に携わる教員や技術職員(非常勤職員を含む)を対象に開催され、参加したテニユア・トラック教員は、講師である労働衛生コンサルタントの門田義彦先生から、実験室における危険や安全配慮義務について、事事故例等を参考に説明を受けました。その後、高知大学における実験時の基本的な注意事項、毒物劇物等薬品管理などの具体的対策について話が行われました。



平成24年9月11日(火)に岡豊キャンパスと物部キャンパスで、9月12日(水)に朝倉キャンパスで、科研費応募説明会が開催されました。科研費審査委員経験者・採択経験者の学内教員による講演のほか、科学研究費助成事業を含む競争的資金の適正な執行についての説明が各担当者からありました。参加したテニユア・トラック教員は、申請書の書き方のポイントやブラッシュアップの事前準備など科学研究費獲得にむけて具体的な指導を受けました。

高知大学テニユア・トラック制度 成果報告シンポジウム 開催のお知らせ

- 日 時 平成24年12月8日(土) 10:30～(予定)
- 場 所 高知会館 高知市本町5-6-42 2階 白鳳の間

編集・発行

イノベティブマリンテクノロジー研究者育成事業

News Letter No.5

平成24年10月発行

国立大学法人高知大学
研究協力部研究協力課研究推進特別支援室

〒780-8520
高知県高知市曙町2丁目5-1
総合研究棟3Fプロジェクト共同研究室14
電話: 088-844-8842 / FAX: 088-844-8333
Email: kk41@kochi-u.ac.jp
URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/imt/>